

教育目標

自主
他敬 自愛
創造

内野中だより

内野中HP
QRコード



新潟市立内野中学校だより 令和4年10月4日(火)発行 第6号 新潟市西区内野西1-10-1
電話 025-262-3161 生徒数 1年生256名 2年生275名 3年生238名 計769名(9月28日現在)



創立75周年記念 飛翔祭を振り返って

飛翔祭担当職員

今年の飛翔祭スローガンは「獅子奮迅」です。このスローガンには生徒一人一人が獅子の如く勇ましく、正々堂々と戦い合い、創立75周年の節目にあたる今年の飛翔祭を大いに盛り上げたいという飛翔祭実行委員の願いが込められています。

このスローガンの通り、飛翔祭当日は3年生のリーダー達を中心に生徒たちはそれぞれが果たすべき役割に対して最大限に力を発揮しながら、各連合一丸となって飛翔祭を盛り上げてくれました。閉会式での結果発表では、負けて悔しいはずの連合から、勝利した連合に対して「おめでとう！」と大きな声で声援を送る姿がありました。単に勝ち負けだけを競い合うのではなく、互いに認め合い、高め合う内野中の生徒たちの素晴らしさを実感しました。

最後になりますが、感染症対策により様々な制限がある中でも創意工夫を凝らし、パワフルで魅力的な飛翔祭を実現してくれた生徒の皆さんや保護者、地域の皆様に心より感謝申し上げます。



今年は、75周年記念という節目の年の飛翔祭でした。コロナ禍ということもあり、さまざまな制限があった中での開催となりましたが、75周年にふさわしい飛翔祭を作ることができたのではないかと思います。

はじめのうちはミスもあり、不安もありました。ですが、仕事を続けていくうちに自分たちが作ったものが形になり成功する嬉しさ、達成感に気づくことができました。楽しいことばかりではなかったですが、最後の飛翔祭を最高のものにすることができ本当に良かったです。最後まで協力してくださった生徒の皆さん、先生方、PTA、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

飛翔祭実行委員長





私は飛翔祭の準備期間から当日まで、全員が楽しめる飛翔祭にしたいと思いながら活動に取り組みました。特に大変だったことは、整列や移動の時の指示出しです。大勢の生徒が一度にグラウンドに出ると指示が通りづらくなってしまいます。そこで簡潔にわかりやすく指示を出すことを意識しました。本番が近くなるにつれて全員の意識がどんどん高まっていく姿を見られたのがとてもうれしかったです。実行委員は裏で活躍することが多かったですが、当日まで本当に充実した活動をすることができたと、先生方や全校生徒の皆さんのおかげで無事成功することができたと思います。これからも先生も生徒も全員が楽しめて、笑顔でやり切れる飛翔祭を続けてほしいです。ありがとうございました。

式典実行委員長

初めて担当した飛翔祭実行委員、応援実行委員長として飛翔祭活動に取り組みました。放課後の連合活動後の巡視、全校練習での服装と帽子のチェックなどを行いました。目立つ仕事ではありませんでしたが、当日の審査にかかわるものであるため、委員全体で協力して最後までやり遂げました。どれも一人ではできない仕事だったので、応援実行委員の皆さんには感謝しています。そして飛翔祭当日は、得点板の貼りかえや、閉会式での結果発表を行いました。結果発表の際は少し緊張しましたが、どうにかやり遂げることができました。この飛翔祭での活動を通して、今までよりも人と協力できるようになった経験を大切にして、残り5ヶ月の中学校生活に生かして頑張っていきたいと思います。

応援実行委員長

私は、飛翔祭実行委員をやったことで、これまでの3年間の飛翔祭の中でも一番本気になれたと思います。それは実行委員という飛翔祭の運営を任されている大切な仕事を責任をもって最後までやり遂げようと思うことができたからです。私は制作実行委員長として応援旗の制作活動の巡視や制作の部の結果発表の仕事を特に頑張りました。ほかには飛翔祭実行委員総務としてスローガンの旗を作ったり、リーダー会議にも参加したりしました。このような仕事を終えて責任感を意識するようになったり、他の人と連携をとって何かをしたりする力などいろいろな面で成長できました。実行委員は応援団などの他のリーダーよりも表に立つ機会は少なかったですが、全校を支えて飛翔祭を作り上げていくことが実感でき、終わった後にはとても達成感を感じられました。この経験で身に付けた力をこれからの生活で生かしていこうと思います。

制作実行委員長

75周年を飾る飛翔祭に、種目実行委員長として携わらせていただきました。

私は、挑戦したいという思いで実行委員になりました。自分の役割に責任を持つこと、その目標達成のために、視野を広げ、前向きにとらえることを意識しました。

活動では、アドリブや素早い判断をすることが難しかったです。頼ることや、うまくいかない場面がありましたが、総務で話し合いの回数を重ねることで、よりよく進められました。

飛翔祭を通して、全体を動かすことの大変さや適応力の大切さなどを学び、貴重な経験ができました。やってよかったと感じています。この経験を今後役に立てていきたいです。

種目実行委員長

